平成 31 年２月臨時記者会見

【２月 14 日(木)午後２時／４階特別会議室】

<u>会見項目</u>

１　平成 31 年度宮古市当初予算(案)について

２　その他

<u>会見内容</u>

別添資料のとおり。

<u>記者との質疑</u>

朝日新聞記者

復興最終年度ということですが、この予算編成によって復興が一区切りつくのか、翌年度以降までかかるものがあるのか教えてください。

市長

一定のところは終了しますが、防潮堤とか水門とか県と市の事業が重なる部分で進捗が見通せないところはあります。

岩手日報記者

予算総額が昨年比減ですが、教育、産業の充実を図るうえで予算に盛り込んだ事業はありますか。

市長

教育そのものもそうですが、子供を育てる環境整備も大事だと考えて、国保税の子どもの均等割減免だとか子どもたちがスポーツに取り組むための支援を強化しました。産業については、水産業において水揚げが減少していることから魚の養殖にモデル的に取り組んだり、眠っている森林資源を活用するため現状把握やアドバイザーの配置に国の財源を使って取り組んだりします。

宮古民友記者

旧市役所については解体することになりますか。

市長

解体して公園を整備しますが 31 年度は解体工事を行います。翌年度以降に整備工事となります。鎮魂の場所を整備することも考えています。

宮古民友記者

小中学校のエアコン設置は冷暖房ではないのですか。冷房のみですか。

市長

暖房として使えないわけではないと思いますが、熱中症対策のための冷房用に設置するものです。暖房は従来からの暖房設備をそのまま使用します。

朝日新聞記者

エアコンはすべての小中学校に設置されるということになりますか

市長

すべての教室ではなく、普通教室になります。特別教室は頻度が高いものから順序に整備していきます。

ＮＨＫ記者

岩手県のような新年度予算のキャッチフレーズはありますか。

市長

これまでも付けていませんので考えていませんでした。ただ、住み続けられるまちづくり、みんなの満足度が高いまちづくりを常に目指しているところです。

岩手日報記者

月山整備は、ロープウェイを設置するような大規模整備事業の始まりということですか。

市長

そこまでは現時点では考えられません。眺望の良い場所なのでそこまで行く道路の整備をします。その後、古くなった展望台の整備をしたいと考えています。

朝日新聞記者

宮古創生センター整備事業について、旧宮古警察署庁舎の活用ということですが新年度予算の内訳はどうなっていますか。

市長

取得費になります。翌年度以降に改修を考えています。

ｍｉｔ記者

こども食堂及び親の自立支援の実施として 500 万円計上されていますが、場所はどこになりますか。

市長

各地を回りますので、固定ではありません。

読売新聞記者

海面養殖と陸上養殖は漁協とかに依頼するのでしょうか。

市長

宮古漁協にお願いしようと思っています。海面養殖は宮古湾の海域の中と考えています。

読売新聞記者

フェリーに関連した事業はありますか。

市長

今年度の補正予算で利用に関する調査事業などを計上しましたが、新年度は県、市のほかに室蘭市も加わって事業を継続し、航路の活用に取り組みます。

宮古民友記者

宮古港海戦 150 周年記念事業のプランはいつごろ示されますか。

市長

実行委員会が立ち上がって、部会の中で議論しています。現時点ではいつごろとは明言できません。ただ、一過性のイベントで終わらせるのではなく、歴史的な事件があったという史実を多くの人に知ってもらえるような事業にしたいと思っています。

岩手日報記者

ダイヤモンドプリンセスが来年２回寄港することの受け止めと外国人対応を含めた取り組みについてコメントをお願いします。

市長

おもてなし本部をつくって官民一体となって客船対応を進めています。バス、キャッシュレス、通訳、物品販売などについても対策を検討しています。画期的なことですので、宮古・下閉伊の市町村も巻き込んで盛り上げていきたいと思っています。10 万トンを超える船が入港できるのは岩手県では宮古港だけですので、県代表のつもりで皆さんの協力を得ながら、乗客の方々にまた来たいと思っていただけるような出迎え、おもてなしをしたいと考えています。